

授業科目名	統合研究セミナー		授業方法	演習
担当教員名	指導教員、副指導教員		単位数	2単位
講義の概要及び達成目標	<p>研究領域の異なる指導教員と副指導教員の緊密な連携による、その学際領域を研究テーマとする学生の研究の独創性のある統合的な開拓を目標としたセミナーを行う。可能な限り指導教員及び副指導教員が学生とともに、研究テーマ解明のための方策に関して考究する。</p> <p>また、「論文指導研究会」及び「学位論文発表会」に参加することで、幅広い研究領域の研究成果の理解と研究におけるプレゼンテーション能力やコミュニケーションスキルを高める。</p> <p>なお、論文指導研究会において、作成途中の学位論文に係る研究を合計3回発表し、指導教員以外を含めて博士後期課程担当教員から研究指導を受ける。</p> <p>1年次には、研究テーマを解明するための新しい研究手法の開発について、集中的にチームティーチング方式によるセミナーを行う。</p> <p>2年次には、その研究手法を用いて研究を進めながら、得られたデータについてチームティーチング方式によるセミナーを行う。</p> <p>3年次には、研究の遂行によって得られたデータを博士論文として取りまとめるためのセミナーを行い、博士論文作成のための研究指導を行う。</p>			
テキスト、教材参考書	<p>教材： 随時必要な原著論文などを用いる。</p> <p>参考書： 創造的進化； ベルクソン著・真方敬道訳、岩波書店 パートランド・ラッセル著作集(別巻)私の哲学の発展； パートランド・ラッセル著・野田又夫訳、みすず書房 実験医学序説； クロード・ベルナル著・三浦岱栄訳、岩波書店 自然の歴史； C.F. ヴァイツェッカー・西川富雄訳、法律文化社 シネクティクスー創造工学への道ー； W. J. J. ゴードン著・大鹿譲、金野正共訳、丸善</p>			
備考				
オフィスアワー	随時 指導教員、副指導教員			
授 業 計 画				
年次	担当教員名	授 業 内 容		
1年	指導教員、副指導教員	<p>学際領域を開拓しようとする新たな研究領域における研究手法について、その方法・原理を解説し、疑問点等についてのチームティーチング方式によるセミナーを行う。</p> <p>研究テーマを解明するために、研究領域間の統合による独創的な学際的研究手法を見出し、これまでにない学際領域を開拓・創造することを目指す。それぞれの研究領域における手法及び原理を追究し、研究テーマの解明に必要な新しい研究手法を開発するセミナーを行う。</p>		
2年	指導教員、副指導教員	<p>1年次のセミナーによって見出された、研究領域間の統合による独創的な学際的研究手法を用いた研究を遂行することによって、研究テーマに関するデータを得る。そのデータを検討し、研究を更に進展させる。研究テーマの解明を目指して研究指導を行う。</p>		
3年	指導教員、副指導教員	<p>2年次の新しい研究手法を用いた研究によって得られたデータを取りまとめて、論文を作成するための研究指導を行う。</p>		